

学校教育目標	『自分が好き 友だちが好き 学校が好き そして このまちが好き』 ○自ら学び続け、判断し、表現できる力を育てます。(知) ○相手の立場を考へて行動し、心豊かなに生活する態度を育てます。(徳) ○元気で明るく、たくましく生きる態度を育てます。(体) ○まちの人やもの等に学び、ともに生きようとする力を育てます。(公) ○様々な人とのかかわりを大切に、広い心で接する力を育てます。(開)				
	創立 73 周年	学校長 鈴木 祐輔	副校長 恒吉 信一	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 7
学校概要	児童生徒数: 424 人 主な関係校: 金沢中学校、金沢小学校、八景小学校、釜利谷東小学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	金沢中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
		金沢小学校 八景小学校 釜利谷東小学校
〈自分づくりに関する力〉 〈コミュニケーション能力〉		・「コミュニケーション能力」と「課題解決のために協力する力」を育成する。 ・他人を思いやり、地域社会に貢献できる児童生徒を育成する。 ・小中9年間のカリキュラムの内容を検討し、改善を図るために、小中一貫授業交流と意見交換会を設定する。児童生徒交流日、特別音楽クラブへの支援等で中学校との交流を深める。 ・教務主任・児童支援専任教諭が、中学校との打合せ等で得た情報を学校全体で共有し、年間行事予定の作成や「文庫小学校のやくそく」の実践・充実に活かしていく。

中期取組目標	○生活スタンダード・学習スタンダードとしての「文庫小学校のやくそく」を基盤とした「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校、地域や保護者のサポートを活かした開かれた学校を目指します。 ・1年目は、学級生活・学校生活を安定化するために、一人ひとりの自尊心を高め、お互いに支え合う仲間づくりを推進します。 ・2年目は、特別支援教育の視点をいかした「分かる・楽しい授業」を行い、子どもが学習の楽しさを実感し、基礎・基本の定着とともに豊かな表現力を育てます。 ・3年目は、まちの人とのつながりを大切にして、出会った人から学び、愛校心とともにまちを愛する態度を育成します。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①国や市の学力・学習状況調査に結果に反映されるように、学校として統一した朝学習の取組を進める。②重点研究を見直し、分かる楽しさを積み重ねていくことができるような授業展開を工夫した研究授業を年3回実施する。そのために「授業を見合う視点」の全体共有を年3回設定する。
担当	重点研推進委	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科を要として学校の教育活動を行う。②道徳科年間指導計画に沿った全学級の道徳科授業公開を年一回以上実施する。③自分の思いを書いたり話したりする活動の中で自分自身を見つめたり、なりたい自分をイメージしたりできるようにする。
担当	道徳部	
体	健康教育	①体育委員会を中心に、全校が意欲的に運動に取り組める企画を年間を通して行っていく。②基本的な生活習慣の啓発を保健便りや学校保健委員会等で行っていく。
担当	体育部	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①地域のよさを生かした学習や活動の機会を積極的に設け、一人一人が自己有用感や所属感を高めるようにする。②キャリアパスポートを活用し、自らの目標を設定したり振り返ったりして、子ども自身が成長を自己評価できるようにする。
担当	特活部	
いじめへの対応		①「生活アンケート」を毎月、YPアセスメントを年2回、いじめアンケートを年2回実施する。結果をもとに、担任が児童に聞き取りや面談を行い、小さなことにも寄り添う姿勢をもつ。②「連絡会」「いじめ防止対策委員会」を定期的に行い、職員の情報共有と未然防止に一層取り組む。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①メンターチームを中心に、学級経営力や授業力を身に付ける研修を定期的に行う。②グループウェア等で情報の共有化を図り、電子申請システムで事務の簡略化や効率化を図る。③管理職と教務で連携を図り、学校課題の検討を円滑に行う。
担当	教務部・メンターチーム	
地域学校共同活動		①年4回の学校運営協議会を開き、学校や子どもの様子を伝えていく。②一層地域に根差した学校を目指し、学校運営協議会のメンバーの方々との協議を進める。
担当	教務部	
特別支援教育		①合理的配慮に対する理解を深めるために研修を定期的に行い、一般級での特別支援教育の充実を一層図る。②児童の抱える困難さに寄り添い、一人ひとりのニーズに合った支援ができるように、多様な学びの場と機会を設定する。③職員の情報共有をもとに、児童の困り感に迅速に対応していく。
担当	児童指導・人権部	
児童生徒指導		①学校で児童が気持ちよく生活できるように、「文庫小学校の約束」を全職員で理解し、活用していく。②問題が起きた時迅速に対応できるよう、管理職・専任等への相談体制を維持していく。③事実確認の方法や聞き取りの仕方など、職員のスキルを高める研修を行う。
担当	児童指導・人権部	
a15		b10
担当		